

活動分野	森に親しむ野外講座		
タイトル	大福山と梅ヶ瀬溪谷		
実施日時	平成30年2月20日（火）8時～17時		
実施場所	市原市大福山、梅ヶ瀬溪谷		
受講者	21名	FIC会員他スタッフ	4名

### 活動の内容

心配された天候は快晴、風もなく日中は暖かくなり、絶好の野外講座日和となりました。

大福山展望台では、「ちば眺望100景」の一つといわれる房総丘陵と九十九谷が織りなす美しい景観を望んで皆さん感動。白鳥神社の社叢林では、階層構造の発達した照葉樹林が見られ、林床ではコウヤボウキの冬芽、ツルアリドオシの赤い実、明るい日差しの届く林道沿いではタチツボスミレが可憐に薄紫色に咲いていました。梅ヶ瀬への降り口の四阿で昼食をとりウメノキゴケ科のマツゲゴケを観察することができました。

紅葉谷をゆっくり注意して下り、梅ヶ瀬溪谷に至り日高邸跡で休憩。梅ヶ瀬川を飛び石の渡渉することなんと30回、滑りやすいので声かけあって進む。梅ヶ瀬層の暖かい南向き斜面は乾燥して急斜面が多く、北向き斜面は気温が低く地下水が染み出している。また、川廻し・二五穴などの地域住民の汗の結晶も学ぶことができました。

帰路、話題の「チバニアン」に立寄り、この地層が地質時代区分の基準地層となることが正式に決定し、ゴールドenspイク（金鋌）が打たれることを期待し17時に千葉駅に到着。ハードな行程でしたが皆さん満足し元気に帰宅を急いでいました。以上



駐車場で出発準備



大福山自然林



晴天の下での昼食風景



日高邸跡



梅ヶ瀬溪谷の二五穴



チバニアン